

# PTAだより

第92号

共に学び 共に育つ 明るい未来のために ~ 家庭教育力の向上を目指して ~

<市P連事務局>

〒923-0927 小松市西町25番地  
小松市立芦城小学校内  
TEL (0761) 23-2478  
FAX (0761) 23-0902  
E-MAIL pta@kec.hakusan.ed.jp  
https://komatsu-pta.jp/  
www.facebook.com/kcpta

令和元年7月16日発行  
市P連広報委員会



小松市立学校PTA連合会  
会長 中井 泰孝

## スケールを生かした家庭教育の向上

日頃より、皆様方にはPTA活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

年号も新しく「令和」という時代になり、令和元年度小松市立学校PTA連合会がスタートしました。新しい時代になり、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わる中、子どもたちが巻き込まれる事件や事故が多くなってきているように感じており、安全・安心な教育環境を再度考えなければいけない時期に来ているのかと思います。そのために本会として、何が出来るかを考え、協力出来ることは出来る限りしていきたいと考えています。

また、子どもたちを育てる上で一番重要な家庭教育の更なる向上と保護者が子どもたちの健全な心の育成に少しでも関わられるよう、昨年まで母親委員会という名称を「輝く心の学び委員会」と名称を変更しました。家庭教育は母親だけが行うのではなく、父親も含めたすべての保護者が関わることにより、より多くの皆さんへの家庭教育の学びを促すとともに、更には学校や地域も含めた家庭教育の学びをPTA連合会の活動を通じ、日頃から学んで頂くきっかけになればいいと思います。子どもの健全な心の育成に最も必要なことは、保護者が子どもたちに正しい道しるべを家庭内で示してあげることが重要だと考えます。

新たな時代とともにPTA連合会の活動として、各単位PTAでは出来ないような小松市全域でのスケールを生かし、PTA連合会でなければ出来ないような事業の取り組みを考えていかなければと思います。

世間的ではPTA不要論もたびたびメディアに取り上げられている中、PTA連合会において、また市内各学校PTAで何が必要で何が必要ないのか、それぞれの中で子どもたちのためにどのような仕掛けが必要かなど、家庭のコミュニケーションの機会を意識的に設けることや、保護者のための研修会等の開催を通じ、自らが生活習慣を整え、学び、子どものお手本となるよう示していかなければならないと思います。

そのためにも、私たちの活動を通じてより多くの保護者に理解を促すとともに、学校や地域と連携して子どもたちの健やかな成長と家庭教育の向上を目指していきます。

最後に、私たちが共に学び、共に育ち、子どもたちの明るい夢のある未来のために学校や地域の人々と協力して活動して参りたいと思います。本年度も皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

★令和元年度 市P連組織

◎ 委員長 ○ 副委員長 ● 校長

<b>顧問</b> 岡田 直樹(板津中) 道場 幹雄(申小)		<b>会長</b> 中井 泰孝(犬丸小)		<b>監事</b> 清水 篤志(第一小) 野村 典子(中海中)		<b>会計</b> 若山 弘子(第一小)
<b>副会長</b> 田村 義彦(安宅中)	<b>副会長</b> 中田 一基(符津小)	<b>副会長</b> 上玉利 賢(安宅中)	<b>副会長</b> 嶋多 直子(丸内中)	<b>副会長</b> 澤村 高史(稚松小)		<b>副会長</b> 釣川 久子(松東みどり) 県P家庭教育委員
<b>総務委員会</b> ◎北村 裕樹(南部中) ◎宮川 教高(能美小) ◎中森 健文(能美小) ◎村田 直之(安宅小) ◎錢田 政光(荒屋小)	<b>広報委員会</b> ◎茶谷 公樹(安宅中) ◎源田 哲也(畠代小) ◎高野陽一郎(向本折小) ◎村中 利光(稲妻小)	<b>豊かな心を育む委員会</b> ◎清水 健治(南部中) ◎橋西 孝一(今江小) ◎西多 洋子(音城小) ◎木下 智普(符津小)	<b>研修委員会</b> ◎打田 圭寛(音城中) ◎大藤 洋一(松東中) ◎宮本 達也(松陽中) ◎藤本 洋右(丸内中)	<b>未来の宝育成委員会</b> ◎高野 豊大(蓮代寺小) ◎新川 欣也(矢田野小) ◎森下 誠(音城小) ◎田村 義彦(安宅中) ◎中田 一基(符津小) ◎上玉利 賢(安宅中)		<b>輝く心の学び委員会</b> ◎谷中 佐祐里(稚松小) ◎佐々木 香子(音城中) ◎宮崎 忍(白木小)
●林 小泉 ●林 弘人(中海小) ●沢田 良成(犬丸小学校校長)	●矢田 力也(粟津小) ●山口 宗洋(木場小) ●稲田 豊(那合小) ●向出 裕幸(天田野小学校校長)	●吉川 雅彦(月津小) ●鳥井 竜彦(国府小) ●加藤 武敏(東陵小) ●舟津 隆行(向本折小学校校長)	●宮下 晃代(南部中) ●児玉 克枝(国府中) ●杉田 壮和(中海中) ●井上 和彦(板津中) ●荒木 達人(安宅中学校校長)	◎釣川 久子(松東みどり) ◎蜂谷せい子(松陽中) ◎駒澤 美紀(音城小) ◎本村 照子(音城中) ◎若山 弘子(第一小) ◎谷中 佐祐里(稚松小) ◎本村 照子(音城中) ◎若山 弘子(第一小) ◎谷中 佐祐里(稚松小) ◎若林由喜子(安宅小) ◎山下久美子(稚松小) ◎C 川袋 桃子(稚松小) ◎D 厨子 知子(丸内中) ●亀田 郁代(荒屋小学校校長)		

# 石川県PTA地区別研究指定発表会 第62回小松市PTA研究大会

日時：令和元年7月28日(日) 午前8時30分～12時 会場：こまつドーム 集会室

## 夢を持てる環境と 子どもたちの輝く未来のために

～ 家庭と学校・地域で育てる教育環境を ～

研究  
発表校

粟津小学校育友会

『食育』～なぜ「食育」なのか～

芦城小学校PTA

『芦城小学校の歴史』～地域と共に歩んだ225年～

丸内中学校PTA

『わが子とともに学ぶ道徳』

講演会

南極地域観測隊

さ と う し ろ う

講師

佐藤 士朗氏



### ■プロフィール

第59次南極地域観測隊 宙空圏モニタリング観測隊員として17年7月より19年3月末まで文部科学省管轄の国家プロジェクトに従事。

17年7月からの訓練、準備を終え同年11月末に出国、オーストラリアより海上自衛隊所有の砕氷船「しらせ」に乗船、約3週間かけ南極大陸東側に位置する昭和基地入り、帰国は19年2月初旬に昭和基地を離れ8週間かけ3月末に帰国。

昭和基地周辺での主な仕事内容は、太陽活動極小期における太陽風磁気圏電離圏超高層大気結合過程の広域ネットワーク集中観測、オーロラ現象の長期モニタリング観測で観測機器のメンテナンス、保守点検をおこなった。



# 輝く心の学び委員会

★今年度より「母親委員会」から『輝く心の学び委員会』に名称を変更し、母親に限らず全ての保護者を対象として、家庭教育の充実を目標に活動して参ります。



委員長  
谷中 佐祐里

輝く心の学び委員会は、昨年度までは「母親委員会」として活動していました。近年の家庭環境や時代の変化に合わせ、子育てにおいて家庭で取り組めることを再度見直すべく、名前も新たに担当校長はじめ各小中学校の代表、役員合わせて40名で活動しています。

今年度は「食育」を通して子育てについて取り組んでおり、料理研究家のしもおきひろこ先生を講師にお招きし【江戸から令和へ～受け継がれる石川の食文化と現状】という演題で講演頂きました。

また、しもおきひろこ先生には、石川の食材をふんだんに使用したメニューでの料理教室も行っております。これらはより石川の食文化に深く触れ、学ぶきっかけになるでしょう。

保護者の意識の変化は、きっと子どもたちにも伝わります。今からどんどん成長していく子どもたちの体、日々の食事でその成長を支えていけるよう、また子どもたち自身が食の大切さに気付き考えることができるよう、新しいヒントを各自が見つけられたのではないかと思います。

今後は各グループでの研修になりますが、様々な意見を交換して頂き、各家庭にあった食育を見つけ出し取り入れる、良い機会になると期待しています。

## ★ 第1回委員会

日時：5月16日(木)

於：サイエンスヒルズ リストランテジ



## ★ 第2回委員会

日時：6月20日(木)

於：小松市民センター



料理研究科のしもおきひろこ氏を講師にお迎えし、「江戸から令和へ～受け継がれる石川の食文化と現状」と題してご講演いただきました。

次回予定 7月7日(日)

## ★ 第3回委員会

『料理研究家 しもおきひろこ氏による調理実習』を予定しております。





## 単Pだより

## 安宅中学校 「地域とともに」

小松市立安宅中学校 PTA会長 茶谷 公樹

安宅中学校では、昨年6月より生徒有志により「安宅中地域活性化クラブ」を立ち上げ、クラブの活動として「日本遺産安宅観光ボランティアガイド」を行っています。

当活動では、安宅が日本遺産に認定されたことを受け、北前船で栄えた地元安宅の歴史や今なお残る伝統ある町並みなどを多くの人に知ってもらいたいと、生徒が観光ボランティアガイドに挑戦し、安宅の良さをアピールしています。

今年度は、地域の安宅校下青少年健全育成協議会のサポートのもと、さらなるメンバーの募集、ガイドの練習・PRと活動を強化しています。

また、安宅校下青少年健全育成協議会と安宅小学校PTAが協力し、非行被害防止講座を開催するなど、例年に続き、地域共催の育成事業も積極的にこなされています。

これからも地域と共に生徒をサポートし、地域活性化にも繋げていきたいと思っています。



## 苗代小学校 「親子の心の繋がりを密に・・・」

小松市立苗代小学校 育代会会長 源田 哲也

「夏のはじめのころです。いく日もいく日もえらい日照りが続いて、木場潟、今江潟の水は底をつき、稲は枯れはじめ、村の百姓たちは困っていました。村人たちは、よるとさわると焼け付くように暑い夏の青い空を見上げて、どうなることかと思案にくれ、ため息をついていました。」

これは、『苗代郷のおこり』という民話の一説です。この後、諸国修行に歩いていた能因入道の命がけの祈念のおかげで恵みの雨が降ります。村人たちは能因入道へ感謝するとともに、能因入道が詠んだ歌「天の川 苗代水にせきくたせ 天くだります神ならば神」に詠みこまれた「苗代」をとって村の名前にしたと書かれています。

このことから分かるように、苗代小学校区はかつて純農村地帯でした。そこに、新興住宅地、アパート、マンションが進出し、今は、両者が混在した地域となっています。さらに近年、大型商業施設が校区内にできたことから、人や車の動きがより活発になりました。人が集まり、苗代小学校の児童数も少しずつ増加をしています。子育て世代の若い家族が多いのも、苗代小学校区の特徴です。

このこともあり苗代小学校育代会では、「親子の心の繋がりを密に」をテーマに、一昨年度より活動を行っています。

低学年での「親子レクリエーション」の実施、「親子の手紙のしろ版」の発行、「のっしーボックス」利用の呼びかけ、「子どもと通学路を歩こう」の取り組み、「友達の家に遊びに行った時のマナー」募集などに取り組んできました。そしてこれらの活動は、今年度も継続をしています。

ちょっとしたきっかけかもしれませんが、親子の心の繋がりが密になり、絆が深まることで、子どもたちの健やかな育成に寄与したい、そんな思いで今年度も育代会活動を行っていききたいと思います。



### 編集後記

広報委員長になって初めての広報誌を無事に発行することができました。段取りなどで各委員会の皆様には不手際もあったと思います。この場をお借りして、関係各所の皆様には、お礼申し上げます。

広報委員長 茶谷 公樹 (安宅中)

広報委員会

- ・ 中田 一基 (符津小)
- ・ 茶谷 公樹 (安宅中)
- ・ 源田 哲也 (苗代小)
- ・ 高野陽一郎 (向本折小)
- ・ 村中 利光 (松東みどり)
- ・ 中田 篤志 (犬丸小)
- ・ 矢田 力也 (粟津小)
- ・ 山口 宗洋 (木場小)
- ・ 稲田 豊 (那谷小)
- ・ 向出 裕幸 (矢田野小学校校長)